

1日目クラカウー2

ネコたちの散策 ーポーランドで手つなぎ鬼ならぬ、手つなぎネコー

ツアー参加者は「前日までに」駅前のホテルに自力でたどり着くことになっていました。つまりは、その日の夜までに16人が集合するはずです。

ベルリンで総勢6名になっていた立花ゼミメンバーは、午前中にクラカウにつきました。

「時間があるならどこかに行きたい」

という「古ねこ」立花先生の言葉で、ホテルで観光名所を聞いて、街へ。

ところが、先生がホテルに到着したのにあわせるように、

クラカウ前泊組や、当日到着組がホテルのフロントで続々合流。

出発する時点でネコは5から9名（匹？）に。

自動販売機と格闘して、なんとか9名分のチケットを手にいれたあと、

市電によって、クラカウ市南部の旧ユダヤ人街カジミエシュ地区へ。



クラカウの市電の切符 (C) saita



カシミール地区の地図で現在位置確認！

カシミール地区で、さらに1人遭遇し、その時点で10人。

見つかったら手をつないで一緒になって歩きつづける

こういうゲームありませんでしたっけ？

だるまさんが転んだ、いえ、手つなぎ鬼？

ともあれ10人もいれば立派な団体。

ユダヤ教の施設シナゴークでは、

「They are students. I'm teacher」と、

初めて耳にする先生の英語で、団体割引もあつという間に成立

ところがシナゴークに、ガイドブックに書かれている目当ての展示物がない！！



シナゴーク前の看板

ということは、別のシナゴークにあるのだろうか？

しかし、うろうろしても結局みつからず……空腹に負けてレストランへ。

ユダヤ人地区なので、ユダヤ教の食事規定「コーシェル」にしたがったメニューをとりました。先生は規律が厳しいからあまりお勧めしない、とおっしゃいましたが、思っていたよりパンや魚が美味しかったです。とくに、生のレモンをしぼったレモネードの味は忘れられません。



レストラン外観

それからしばらくして二手に分かれました。

先生と一緒にさらに散策するチームと、中央市場に行くチーム。

私がどうしても中央市場に行きたい！と主張したためですが……

*先生はきっとお買い物は興味ないだろう、と置いていたらやっぱりそうでした。

まあ、私というネコが、手つなぎ鬼にあきたので、指切った！といって逃げた、ということかもしれません……

中央市場にある織物会館の一階には、ポーランドの伝統的な工芸品の売店が集中していて、おみやげも買えるし、みているだけでも楽しいのです。

ここを心ゆくまで見たい！というのも私がクラカウにきたかった目的でした。

結局2時間半ぐらい、中世の雰囲気を残す市場の雰囲気のなか、色とりどりの手工芸品を眺めていました。

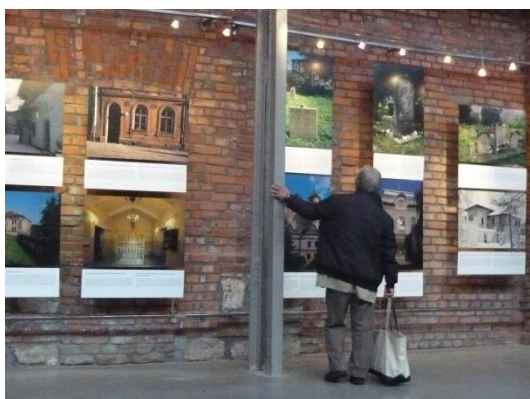


織物会館

なお、先生はそのあとユダヤ博物館を発見し、心ゆくまで堪能したようです。

先生は博物館好き。どこにいても時間をかけて丁寧にじっくり観覧されます。

そして、その観察眼が先生の凄さなのだと、私はアウシュビッツで実感することになります。



クラカウ市内のユダヤ博物館を見学する先生